

達摩（だるま）地区

達摩堂があることから名付けられた。中ノ明から分かれた村で、慶長五年（一六〇〇）に上杉景勝による神指城築城に伴い、武藤村から移転して村ができた。城は、築城が中止され、元の集落に戻った家もいたが、戻らずそのまま住みついた家があった。

達摩堂（達摩地区）

達摩地区の由来になるものだが、詳細は不明であるが『新編会津風土記』に「承応中（一六五二～五四）再建す」とされている。

